

問い合わせ先
 県土マネジメント部公共工事契約課
 公共工事契約管理係
 0742-27-7425

平成26年度 第2回 奈良県入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成26年10月22日(水) 県庁議会棟第1委員会室	
委員	委員長 池田 辰夫 委員長代理 福井 英之 藤平 真紀子 楨村 久子 三浦 晴彦	
審議対象期間	平成26年4月1日～平成26年7月31日	
抽出案件	7件	(備考) ○審議対象期間中の総契約件数、入札参加停止措置状況、入札契約制度の適正化に係る取組状況並びに談合情報の対応について説明
一般競争入札	7件	
指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	次頁参照	
委員会による意見具申又は勧告の内容	<p>○抽出案件については、不正を疑わせる内容もなく、概ね妥当であると考えます。</p> <p>○今後とも入札制度の不断の改革に努めることとし、更なる競争性・透明性・公平性を確保し、県内優良建設業者の育成や不良不適格業者の排除を促進するとともに、価格と品質で総合的に優れた調達が確保されるよう、引き続き検討・見直しを進めていただきたい。</p> <p>○今後とも県民の信頼に耐えうる入札制度の更なる改善に努めていただきたい。</p>	

質 問	回 答
案件1(文化会館空調自動制御設備改修工事)	
○空調自動制御設備の更新を行い、空調機本体は既設のものを使用するとあるが、前回受注した業者と違う業者に発注しても設備上問題はないのか。	●空調自動制御設備は、従来より既設空調機本体とは異なる業者の製品であり、空調機本体の接続仕様を示すことで、他社の空調自動制御設備でも接続可能であるため、問題は生じない。
○入札者が少ない上に辞退した業者もいるが、その理由をどう分析しているか。	●同時期に同種工事の発注があり、先に契約できた案件に技術者を配置した結果、技術者が不足したためだと思われる。
○1者失格となっているが、その理由は。また、その理由を業者に伝えているか。	●入札書に記載された入札金額と見積根拠資料に記載された金額とが異なっていたため失格とした。失格理由は業者に伝えている。
案件2(平成25年度復旧治山事業3)	
○当該案件は地域要件を設定しているが、今後災害が発生し、地元業者が被災した場合、厳しい地域要件を課すと地元業者だけでは対応できなくなると思うが、どう考えているか。	●公共事業が減少し、特に山間部の業者数が減少している状況を踏まえ、地域を支える建設業者の存続を支援するとともに、地元経済への寄与と地域雇用の促進を図るため、平成23年度に地域要件を設定した。 ●急傾斜地崩壊対策事業や治山事業では、緊急時に対して、即応性や機動性があり、現場の地理や周辺住民の生活状況等に精通した業者が必要であるため、これらの事業の入札参加者を市町村域で限定することとした。
○2期に分けて発注しているが、その理由は。	●当該案件は人力施工が大半を占めており、また野迫川村は冬期には積雪により工事を施工することができないため。
○1者入札であるが、入札に参加できた業者数はどれくらいか。	●26者。
案件3(宇陀警察庁舎改修工事)	
○防音工事の必要性について詳しく教えてほしい。	●庁舎の外部及び内部に楽器の音が漏れないようにするため。 ●また、室内で音が反響すると、楽器の音がわかりづらくなるため、反響防止の工事も兼ねている。
○1者入札であるが、その理由をどう分析しているか。	●工事内容を精査する前に、「防音工事」という名称から高度な技術が必要になると判断し、入札しなかったのではないかとと思われる。
○どのくらいの頻度で使用する予定か。	●年間を通して、3分の1以上の日数は使用する予定。

案件4(高野天川線 橋梁災害復旧事業・道路災害関連事業・臨時単独道路改良事業工事)	
○山の斜面の一部に種子散布をしているが、その効果は。	●斜面全体にボーリング等地質調査をした上で、法面に対してどのような対策が必要か検証した結果、山麓付近は法枠工と鉄筋挿入工、山頂付近は法枠工とアンカー工を施工することにより、崩れた斜面全体の安定を図っている。 ●当該箇所は斜面が緩いので、法面を保護するために種子散布を行った。
○11者辞退しているが、その理由をどう分析しているか。	●当該案件に限ったことではないが、電子入札の場合、参加申込をしていないと入札に参加できないため、とりあえず参加申込をし、技術提案書提出時に再度検討した結果、辞退したためだと思われる。
○技術提案書の不備により1者欠格となっているが、どのような場合に欠格になるのか。	●違う工事の技術提案書を提出したり、工事番号の記載に誤りがあった場合等は欠格となる。
○3工区に分けて発注とあるが、今後の発注計画は。	●第3工区については、橋梁上部工の発注を予定している。
案件5(一般国道168号 地域連携推進事業(国道改築))	
○5者辞退しているが、その理由をどう分析しているか。	●案件4と同様、入札参加申込をした後、再度検討した結果辞退したためだと思われる。
案件6(第二浄化センター管廊施設等耐震(可とう継手)工事)	
○1者欠格となっているが、その理由は。	●施工計画の内容が未記載であったため。
○技術提案書の補正の機会はあるか。	●認めていない。
案件7(奈良県立大学(仮称)地域交流棟新築工事(建築工事))	
○2者辞退しているが、その理由を業者に確認したか。	●していない。